

自動通知機能を有する電子郵便受け

グループ名 Sophia 1
 メンバー
 上智大学 M1 萩原 慶太
 上智大学 B4 佐々井 宏典

・動機・目的

情報社会である現在、電子連絡手段でのやり取りが多くなっているが、重要書類などは防犯上紙媒体でやり取りされている。その中で受け取り手が手にする前の紛失や、受け取りに時間をかけるのを低減するためこの自動通知機能を有する電子郵便受けを考えた。

・製品解説

この製品はソーラーパネルで発電し家の電気とは別の発電・蓄電回路になっている

スキャナーと文字認証機能を用い、ポスト内に入れられた資料を持ち主のタブレット端末に送信するもの。タブレット端末により認証文字は様々なものに遠隔で変更することができ、その日に届くものにあつた文字に変更することが出来る。

スキャナーの上に書類がある場合外部についているボタンを押すとスキャナーが起動し、データを受取人の端末へ送信する。

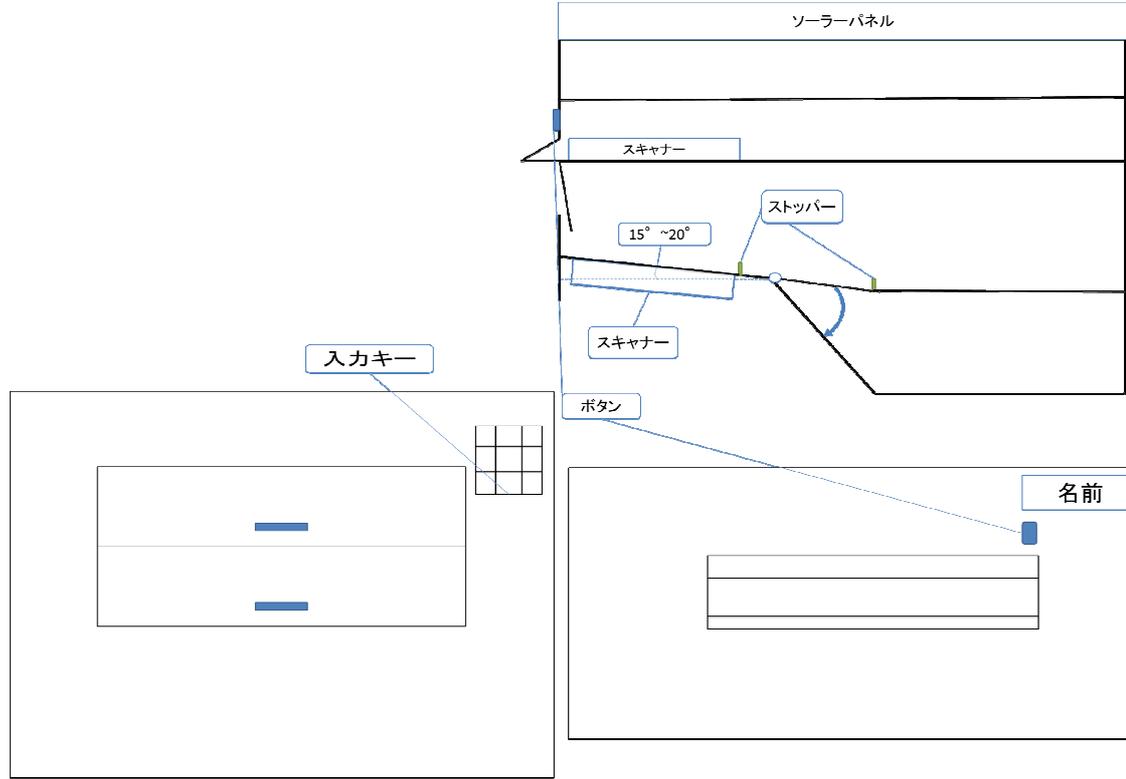
この製品は重要書類とそれ以外のものをポスト内に分別できる。ポスト内に角度がついておりストッパーを用いて書類を止めスキャナーで判別する。その後ストッパーを解除し、2段構造となっているところで再び止め判別したものを上下に分ける。

さらに防犯の面では外からでは取れない構造とし、内側の取り出し口にはロック機能を設定した。

・結論

一部のユーザーに限るが、この機能によって重要書類の受け取りのタイムラグがなくなり、迅速な対応が可能となるとともに、外出時にはいつ何が届いたのかを把握できる。

複数枚重ねの際にスキャナーが読み込めなくなるのは今後の課題である。



思考展開図

